記者発表資料

令和 6年 4月 4日
雄物川圏域流域治水協議会
下流圏域分科会

《流域治水》雄物川下流圏域及び馬場目川水系における「水災害対策プロジェクト」を更新

令和５年７月１５日からの大雨で被害のあった「雄物川下流圏域」及び「馬場目川水系」において、令和５年１１月３０日に「水災害対策プロジェクト」を策定し、治水対策に着手しております。

今般、全国初となる内水被害の軽減を目的とした、太平川流域（秋田市街地）における「内水被害等軽減対策計画」が登録されたことを受けて、「雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクト」に、それらの内容等を反映し、プロジェクトを更新しました。

また、「馬場目川水系　水災害対策プロジェクト」についても、具体的な治水対策の検討・実施内容等を反映し、プロジェクトを更新しました。

更新のポイント

●雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクト

・太平川の河川改修、雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲート等の整備を、太平川流域（秋田市街地）における「内水被害等軽減対策計画」に位置づけ加速化。

●馬場目川水系　水災害対策プロジェクト

・馬場目川、富津内川、内川川における治水対策（河道掘削等の実施）を具体化。

〈水災害対策プロジェクトの概要〉

「雄物川下流圏域」「馬場目川水系」では、早期に河道掘削等を行うとともに、治水対策やソフト対策を行う流域治水の推進により、令和５年７月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減してまいります。

また、雄物川下流圏域では水災害対策プロジェクトを実施した場合の実施効果も公表しますので、合わせてご覧ください。

〈「内水被害等軽減対策計画」の概要〉

国土交通省水管理・国土保全局は、内水被害の蓋然性が高い地域を対象に、中小河川流域における内水被害等を軽減することを目的として、雨水貯留や土地利用工夫、河川改修や下水道整備、内水ハザードマップ作成などのソフト対策を一体的に実施し、対策を加速化する「内水被害等軽減対策計画」に係る制度を令和６年度より創設しました。

■雄物川下流圏域水災害対策プロジェクト（プロジェクト期間：令和５年度～令和１４年度）

詳細については、以下の URL よりご覧ください。
https://www.thr.mlit.go.jp/akita/river/10_ryuuikichisuikyougikai/index2.html

■馬場目川水系水災害対策プロジェクト（プロジェクト期間：令和５年度～令和１４年度）

詳細については、以下の URL よりご覧ください。
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/77154

■内水被害等軽減対策計画

詳細については、以下の URL よりご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000203.html

記者発表資料

発表記者会：秋田県政記者会

分科会事務局　：　問い合わせ先

【雄物川下流圏域 水災害対策プロジェクトに関わること】
国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所
（住所）秋田市山王一丁目１０－２９　（電話）０１８－８２３－４１６７
副所長（河川）　成田（なりた）　正喜（まさき）（内線２０４）
【馬場目川水系 水災害対策プロジェクトに関わること】
秋田県　建設部　河川砂防課
（住所）秋田市山王四丁目１－１　（電話）０１８－８６０－２５１１
チームリーダー　菅原（すがわら）　敏弘（としひろ）（内線２５１１）、主査　佐々木（ささき）　裕史（ひろふみ）（内線２５１１）
【秋田市所管の事業に関わること】
秋田市　上下水道局　下水道整備課
（住所）秋田市川尻みよし町１４－８　（電話）０１８－８６４－１４５５
下水道整備課　課長補佐　佐藤（さとう）　正利（まさとし）
【五城目町所管の事業に関わること】
五城目町　建設課
（住所）秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目一丁目１－１　（電話）０１８－８５２－５２５２
主席課長補佐　小野（おの）　享（とおる）

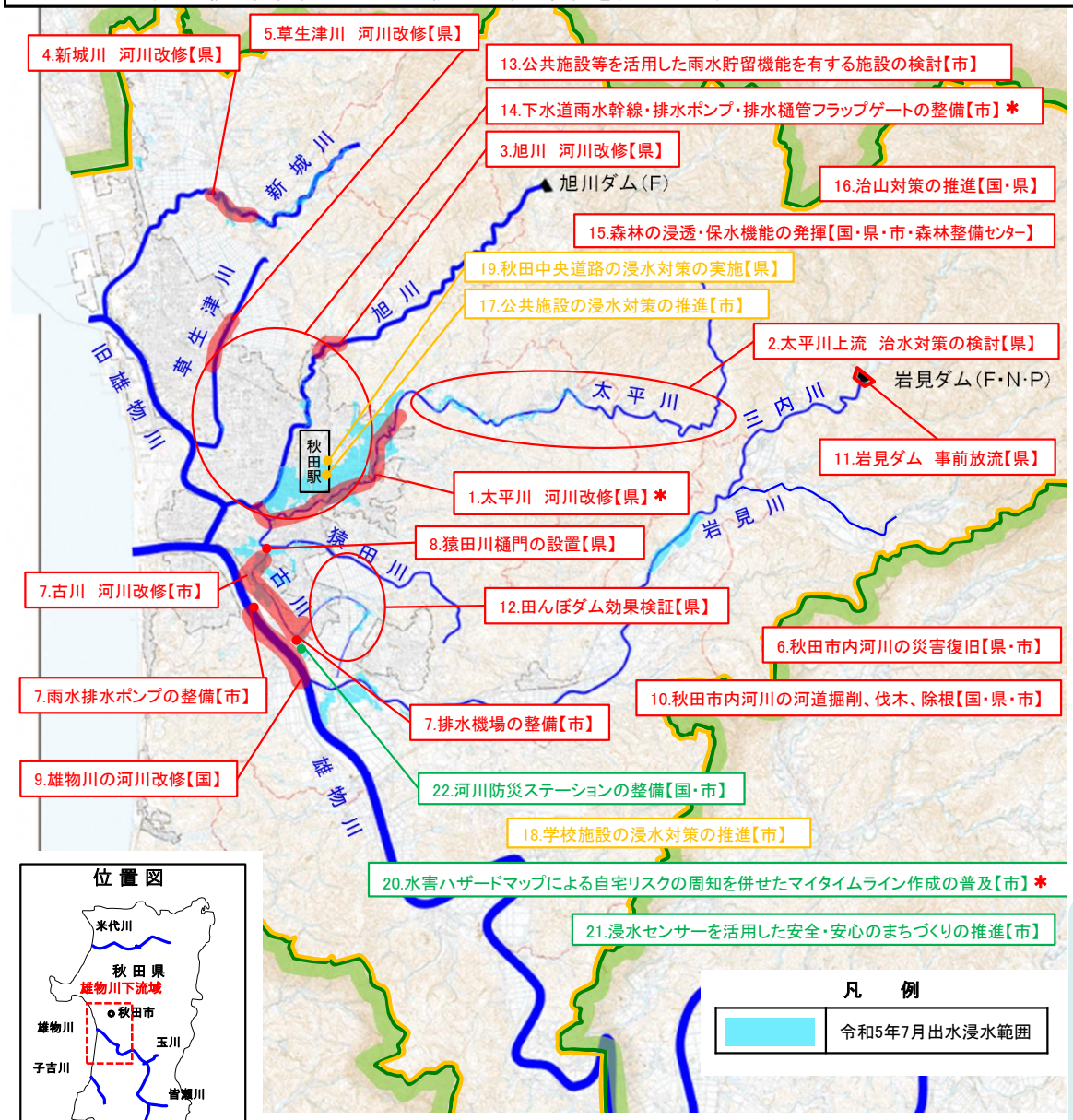
雄物川下流圏域　水災害対策プロジェクト

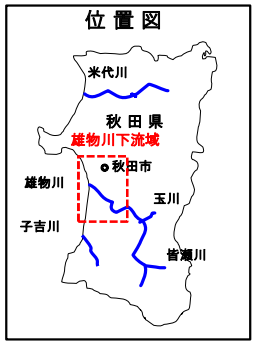
～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

R6.4.4更新

○　令和5年7月15日からの大雨により、太平川の越水をはじめ秋田市街地の大規模浸水被害が発生したことから、雄物川下流圏域では、国、県、市等が連携し、以下の対策を実施する。

- 国は雄物川の河川改修、県は太平川、岩見川等の河川改修、災害復旧の対策を集中的に実施するとともに、秋田市は下水道の整備や浸水対策の検討を行い、令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減する。
- これらの推進を図るため、内水被害等軽減対策計画（新規施策）に、太平川の河川改修や下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備、ソフト対策等を位置付け、治水対策等の加速化を図るとともに、「流域治水」の深化に向けて、特定都市河川制度（特定都市河川の指定）を活用した取組を推進していく。
- なお、引き続き被害軽減に向けて浸水対策の検討を行っていく。





＊内水被害等軽減対策計画に位置付け、治水対策等の加速化を図ります。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

■事業期間　令和5年度　～　令和14年度

■事 業 費　約639億円【国：約13億円、県：約417億円、市：約209億円】

※このほか、費用が確定した段階で、事業費に追加になります

※事業費については今後変更となる可能性があります

■目　　標　令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を大幅に軽減

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

1.太平川の河川改修【秋田県】＊
2.太平川上流　治水対策の検討【秋田県】
3.旭川の河川改修【秋田県】
4.新城川の河川改修【秋田県】
5.草生津川の河川改修【秋田県】
6.秋田市内河川の災害復旧【秋田県・秋田市】
7.古川の河川改修や排水機場等の整備【秋田市】
8.猿田川樋門の設置【秋田県】
9.雄物川の河川改修【国交省】
10.秋田市内河川の河道掘削、伐木、除根【国交省・秋田県・秋田市】
11.岩見ダム事前放流【秋田県】

○集水域での対策

12.田んぼダムの効果検証【秋田県】
13.公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討【秋田市】
14.下水道施設の雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備【秋田市】＊
15.森林の浸透、保水機能の発揮【林野庁・秋田県・秋田市・森林整備センター】
16.治山対策の推進【林野庁・秋田県】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策

17.公共施設の浸水対策の推進（エレベーター施設等）【秋田市】
18.学校施設の浸水対策の推進（受変電施設、空調室外機等）【秋田市】
19.秋田中央道路の浸水対策の実施【秋田県】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

20.水害ハザードマップによる自宅リスクの周知を併せたマイタイムライン作成の普及【秋田市】＊
21.浸水センサーを活用した安全・安心のまちづくりの推進【秋田市】
22.秋田地区河川防災ステーションの整備【国交省、秋田市】

令和5年7月大雨による浸水被害状況

古川沿川の住宅地（大住地区）

太平川沿川の県道秋田昭和線（城東十字路付近）

馬場目川水系　水災害対策プロジェクト

～流域のあらゆる関係者が一体となった、安全で安心が確保できる治水対策の推進～

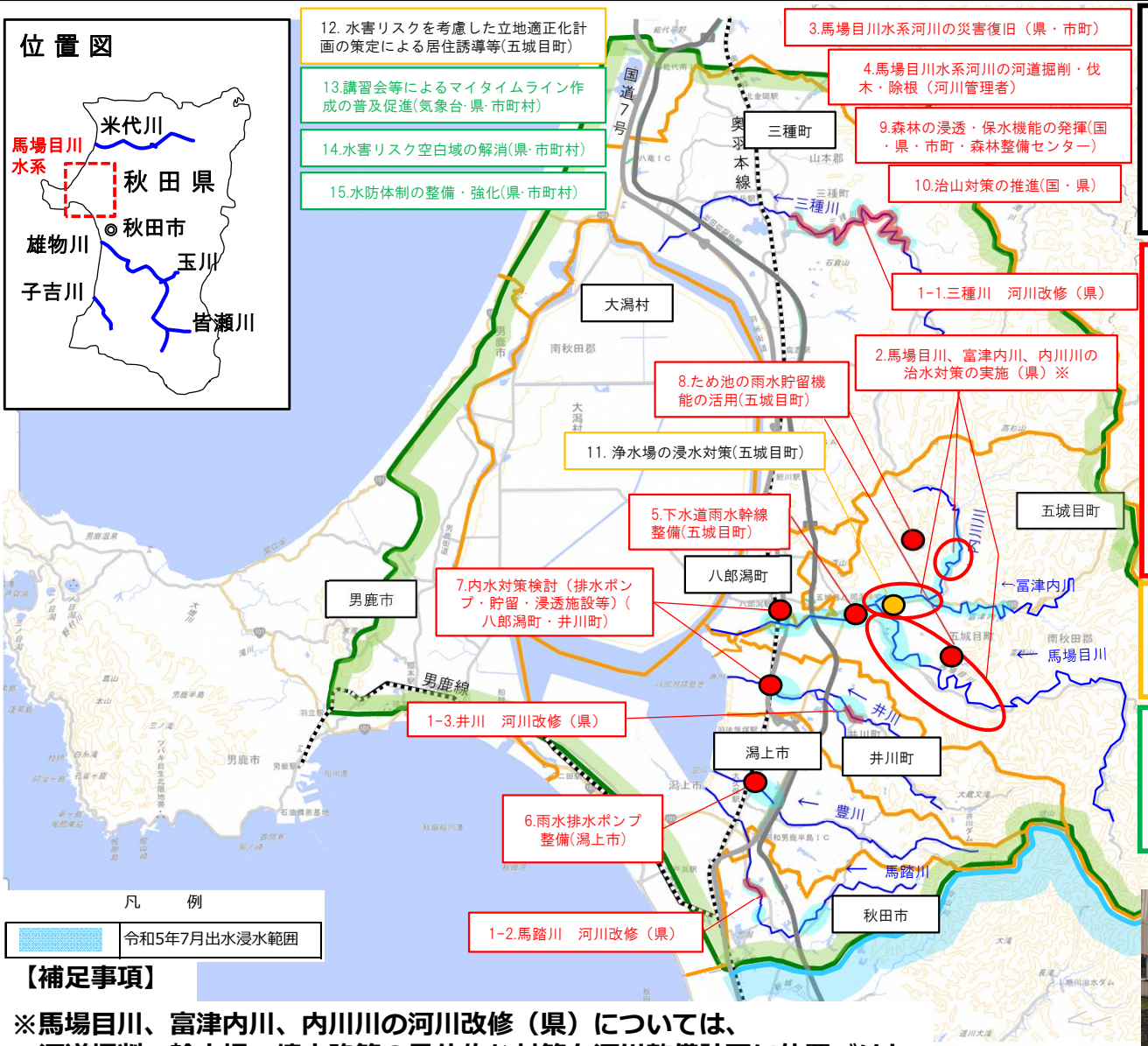
R6.4.4更新

○ 令和５年７月１５日からの大雨により、馬場目川、内川川など、水系内の５河川で氾濫が発生した。特に馬場目川では過去最高水位を観測したほか、富津内川・内川川では令和４年８月豪雨に続き２年連続で浸水被害が発生した。このため馬場目川流域では、県、市町村が連携し、「馬場目川水系水災害対策プロジェクト」を策定。早急に浸水被害の軽減を図るため、以下の取組を推進していく。併せて被害軽減に向けて浸水対策の検討は引き続き行っていく。

位置図

12. 水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定による居住誘導等(五城目町)
13.講習会等によるマイタイムライン作成の普及促進(気象台･県･市町村)
14.水害リスク空白域の解消(県･市町村)
15.水防体制の整備・強化(県･市町村)

3.馬場目川水系河川の災害復旧（県・市町）
4.馬場目川水系河川の河道掘削・伐木・除根（河川管理者）
9.森林の浸透・保水機能の発揮(国・県・市町・森林整備センター)
10.治山対策の推進(国・県)
1-1.三種川　河川改修（県）
2.馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施（県）※
8.ため池の雨水貯留機能の活用(五城目町)
11. 浄水場の浸水対策(五城目町)
5.下水道雨水幹線整備(五城目町)
7.内水対策検討（排水ポンプ・貯留・浸透施設等）（八郎潟町・井川町）
1-3.井川　河川改修（県）
6.雨水排水ポンプ整備(潟上市)
1-2.馬踏川　河川改修（県）



凡　例

	令和5年7月出水浸水範囲

【補足事項】

※馬場目川、富津内川、内川川の河川改修（県）については、河道掘削、輪中堤、捷水路等の具体的な対策を河川整備計画に位置づけた上で、取組を推進。

■事業期間　令和5年度～令和14年度
■事 業 費　今後、各河川の河川整備計画を順次策定しながら確定
※令和5年度の補正予算及び防災・減災対策等強化事業推進費、
災害復旧事業費により配分した予算：約２８億円
【県：２５．１億円、市町：３．３億円】
■目標　令和5年7月と同規模の大雨による浸水被害を軽減
・具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
○河川区域での対策
1.三種川、馬踏川、井川の河川改修（県）
2.馬場目川、富津内川、内川川の治水対策の実施（県）※
3.馬場目川水系河川の災害復旧（県・市町）
4.馬場目川水系河川の河道掘削・伐木・除根（河川管理者）
○集水域での対策
5.下水道施設雨水幹線の整備（五城目町）
6.雨水排水ポンプの整備（潟上市）
7.市街地の内水対策検討(排水ポンプ、貯留・浸透施設等)(八郎潟町・井川町)
8.ため池の雨水貯留機能の活用（五城目町）
9.森林の浸透・保水機能の発揮（国・県・市町・森林整備センター）
10.治山対策の推進（国・県）

■被害対象を減少させるための対策
○氾濫域での対策
11.浄水場の浸水対策（五城目町）
12.水害リスクを考慮した立地適正化計画の策定による居住誘導等（五城目町）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
○氾濫域での対策
13.講習会等によるマイタイムライン作成の普及促進(気象台･県･市町村)
14.水害リスク空白域の解消（県・市町村）
15.水防体制の整備・強化（県・市町村）

令和５年7月大雨による被害状況

三種川沿川の家屋浸水(下岩川長面地区)

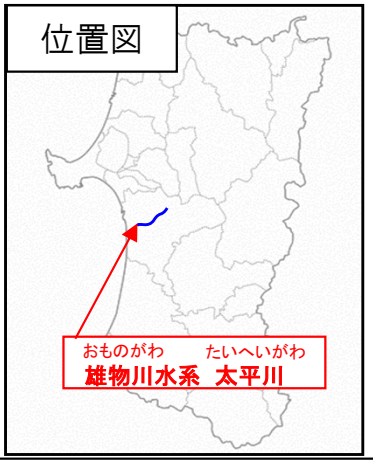
内川川の氾濫(内川湯ノ又地区)

雄物川下流圏域
水災害対策プロジェクト

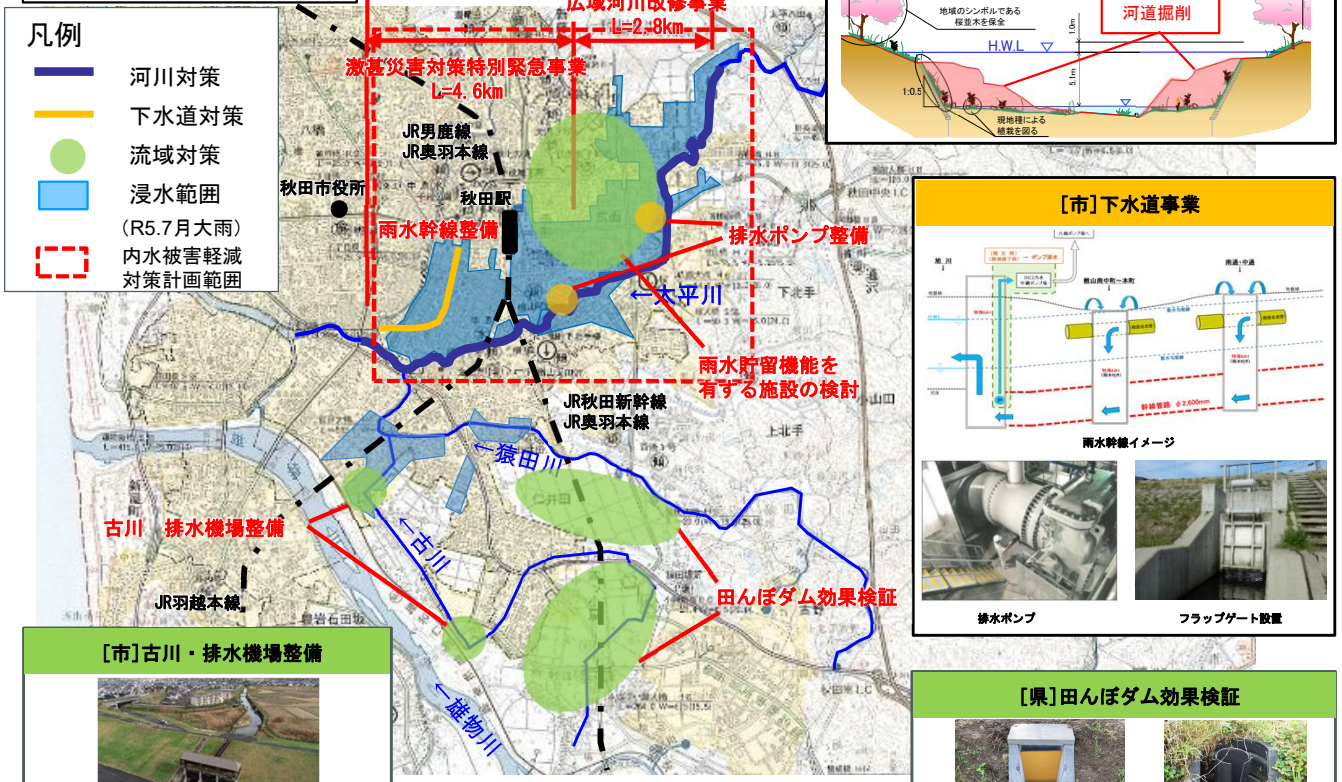
太平川　内水被害等軽減対策計画

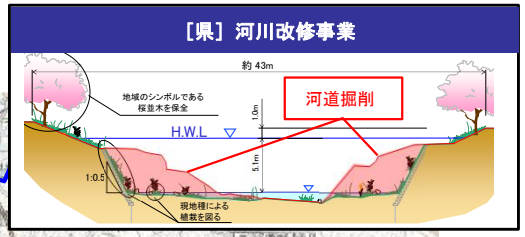
【計画の概要】
〇内水被害軽減の基本方針
　浸水被害の危険性が高い地域を集中的に整備
　緊急整備により、迅速に浸水被害を軽減
〇対象期間
　令和6年度～令和14年度
〇全体計画額
　約　428億円※（県：約360億、市：約68億）
〇特定都市河川に向けた見込み
　令和6年3月ロードマップ公表。ロードマップに基づき、特定都市河川指定に向けた検討を実施予定
※全体計画額については、今後変更となる可能性があります

位置図



【取組の概要】





【主な取り組み内容】
〇河川対策　：太平川の河川改修（県：約360億）
〇下水道対策：雨水幹線、排水ポンプ、
　　フラップゲートの整備（市：約66億）
〇ソフト対策　：内水浸水想定区域図作成（市：約2億）

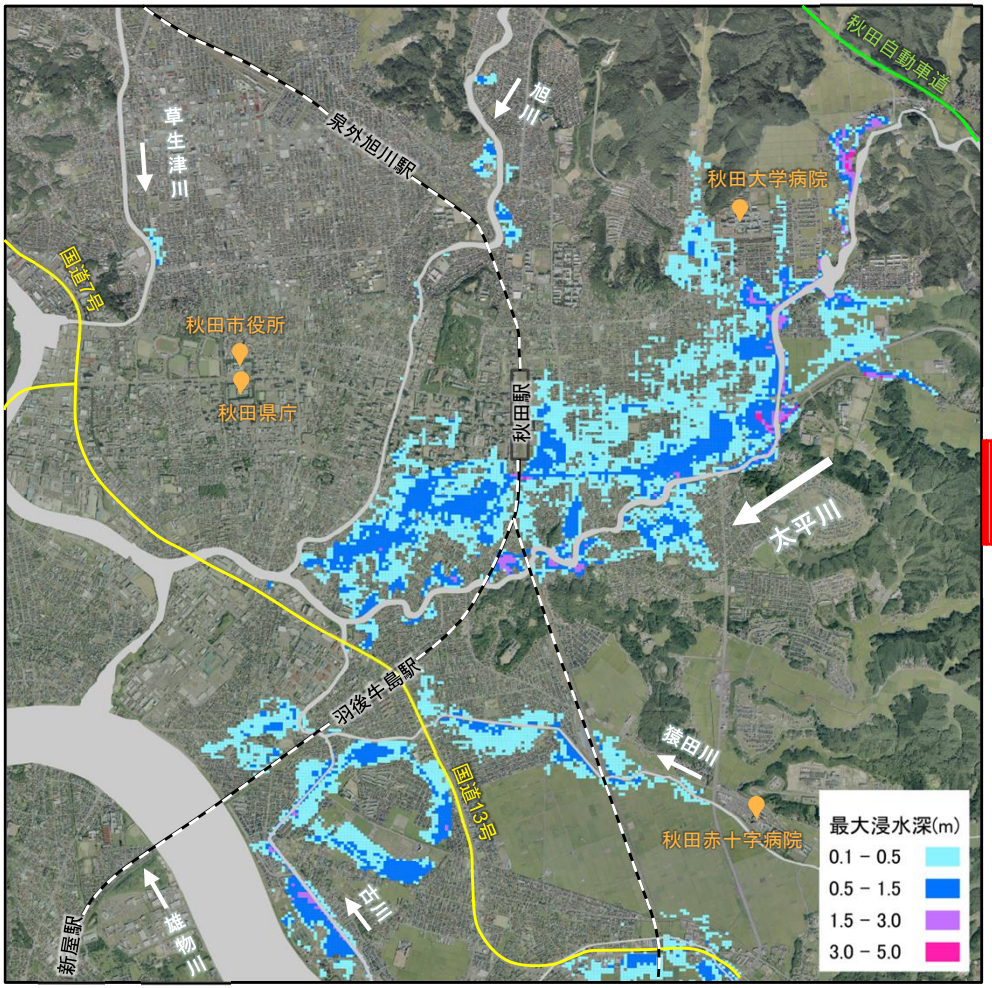
〇流域対策　：①特定都市河川の指定
　②田んぼダムの効果検証
　③公共施設等を活用した雨水貯留
　　機能を有する施設の検討
　④公共施設等の浸水対策の推進　など

【推進体制】
雄物川圏域流域治水協議会下流圏域分科会

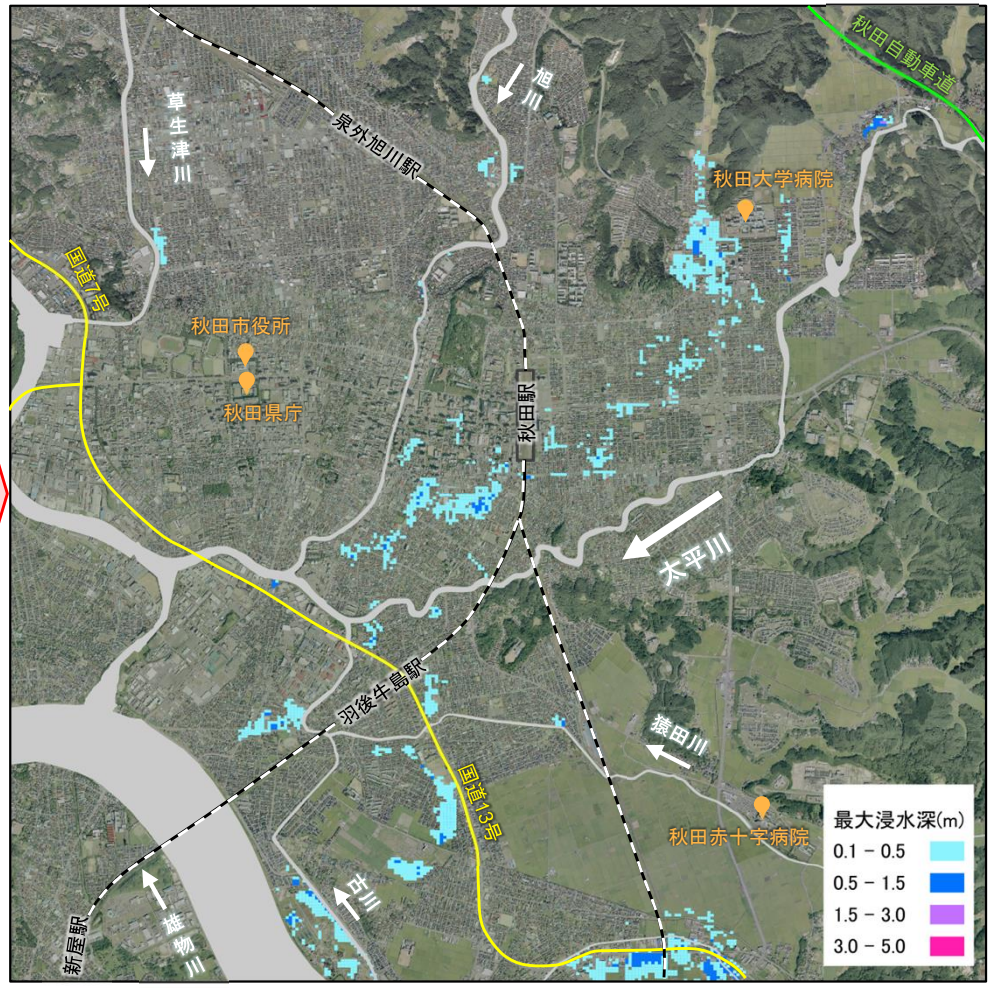
【取り組みの効果】
　令和5年7月と同規模の降雨に対して、
　概ね10年間で浸水面積の約8割を解消

取り組みの効果（令和５年７月同規模降雨）

■浸水現象の再現結果（浸水範囲）

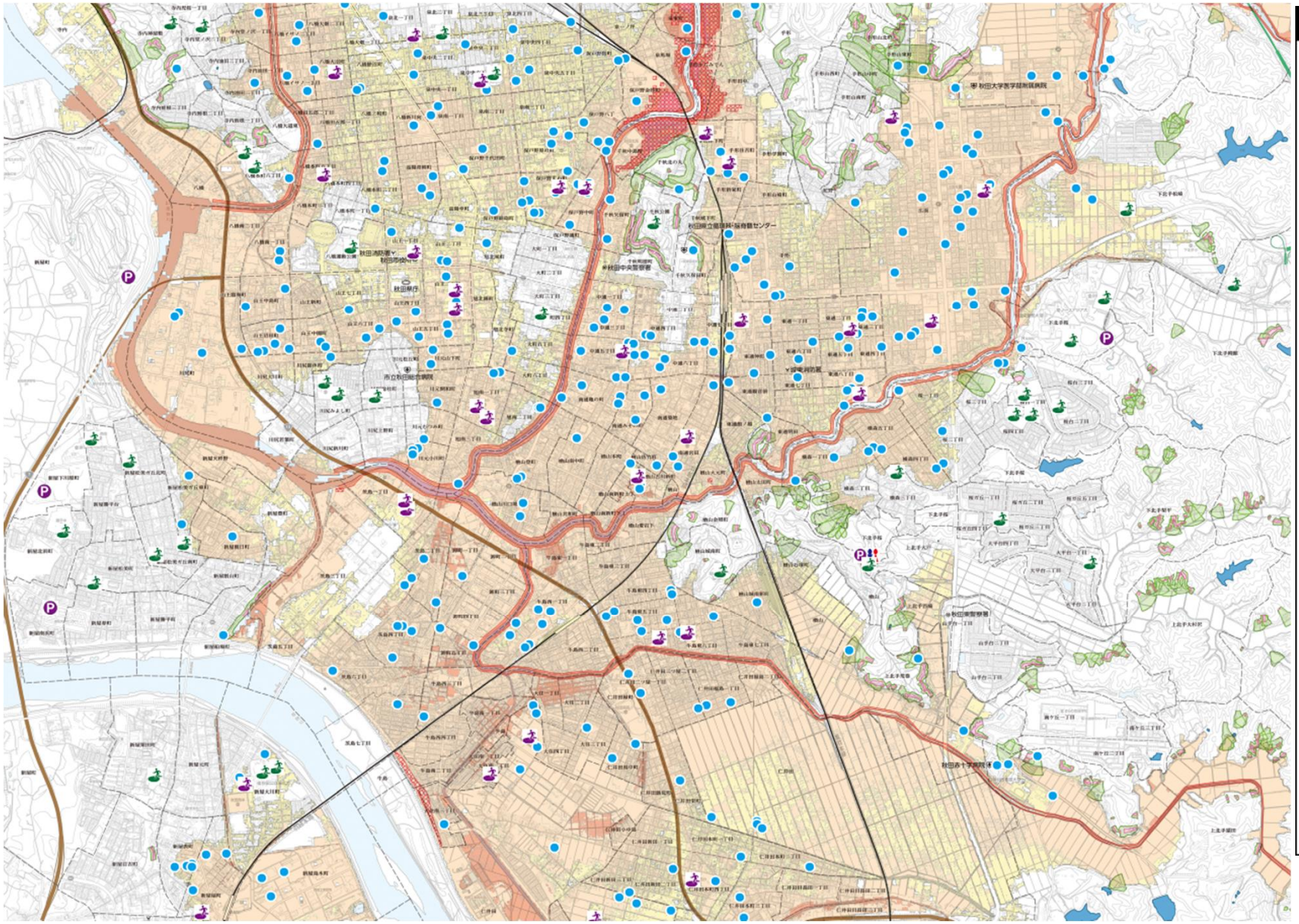


■対策実施後の計算結果（浸水範囲）



- この図は、令和5年7月に発生した大雨の浸水現象をシミュレーションしたものです。時間によって変化する水深のうち、それぞれの範囲内で最大の浸水深を表示しています。（浸水深10cm未満の範囲は表示していません）
- 旭川、太平川、猿田川、古川、草生津川といった河川からの氾濫（外水氾濫）と、水路や下水道からの氾濫（内水氾濫）の両方を考慮しています。
- シミュレーションには地盤高として、約25m×25mのメッシュデータを用いています。
- シミュレーションの実施にあたっては、小規模な支川の氾濫、氾濫原の微地形、下水道のうち詳細な枝線などを考慮していませんので、この浸水図に表現された範囲以外にも浸水が発生している可能性があります。
- 水害ハザードマップは想定最大規模の降雨を対象としているため、警戒避難については従前どおり水害ハザードマップを参照してください。【別添参考資料】
- 今後、対策の内容が変更になる場合があります。

【参考資料】秋田市WEB版水害ハザードマップ



◆PCもしくはスマートフォン等により、下記URLで詳細を確認できます

https://www.akita-hm.jp/#